

済生会松山病院



はじめに

済生会は明治44年に明治天皇のお言葉（済生勅語）により創設されました。以来、社会経済状況の変化に伴い、幾多の曲折を経ながらも「済生（生命を救済するの意）」の精神を忘れることなく、医療サービスと福祉の増進に必要な諸事業に取り組み、平成23年には創立100周年を迎えました。

病院の沿革

昭和18年 8月 松山市梅田町3丁目に松山診療所開設
 昭和27年 病室増築（17床）
 昭和39年 3月 松山市祓川1丁目に松山病院を開設 病床40床
 昭和51年 8月 増築完成（救急センター）
 昭和53年 3月 増床51床（病床91床）
 平成4年 5月 新病院診療開始（12科・141床）
 平成4年 6月 人工透析開始（16床）
 平成10年 8月 松山医療福祉センター発足

平成12年10月 透析施設完成（41床）
 平成16年10月 ISO9001：2000 運用開始
 平成18年 7月 増築棟完成
 平成21年 5月 小田病院との再編統合により29床増床（病床170床）

平成24年11月 救急棟完成
 済生会松山病院の沿革は、昭和18年松山診療所の開設にまでさかのぼります。開設は、松山市の西部地域で医療面において不便を感じていた近隣の住民から、地域唯一の公的医療施設である済生会松山診療所の病院昇格を切望する声に応える形で、昇格期成促進会を結成し、関係方面へ要請活動が行われました。こうした運動が実り、昭和39年移転開院、40床の病床で松山病院はスタートしました。

現在は平成4年に新築移転した地にて、愛媛県松山市西部地域唯一の公的病院として、保健・医療・福祉の充実、発展のため地域医療に尽力しています。介護老人保険施設や在宅生活復帰支援センターも併設しています。また、巡回診療船「済生丸」

による離島検診活動にも積極的に携わっています。

病院の概要

診療科目：内科、循環器内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科

病床数：170床

医師数：常勤35名（初期研修医除く）
 （平成25年4月1日現在）

病院の現況

当院は松山市の救急輪番担当病院として二次救急診療を行っております。平成24年度実績では救急車1,700台、外来患者総数5,800人でした。年々増加する救急患者に対応すべく平成24年11月、3階建ての救急棟が増築され、救急処置室・外来処置室等を拡充し受入体制を強化しました。

また平成15年10月、愛媛済生会病院群協力型臨床研修病院指定となりました。さらに、平成17年9月には管理型臨床研修病院の指定を受けました。地域に密着した中規模病院の特殊性を活かし、救急医療、急性期疾患および終末期医療まで広範囲に渡った豊富な症例を経験することができることを特色とし、現在8名の初期臨床研修医を迎え、臨床教育にも力を注いでおります。



救急棟

医療機器, 院内設備等

院内情報に関してはウェブで常時更新し職員への周知を行い, 平成22年8月には電子カルテを稼動するなど, 電子化を推進して業務の効率化を高めることを目指しています。

高額の医療機器としては, 平成21年12月より128列2管球搭載型マル

チスライスCTを導入しています。当院ではこの装置で実現できる高速撮影, 低被爆で患者さんにより良い医療, 検査を受けていただけるようにと考えております。

最後に

松山医療圏の救急体制も少しずつ手薄になってきつつあります。その

ような流れの中で, 少しでも地域の医療に貢献できるように取組む所存です。

平成25年5月受理
〒791-8026 愛媛県松山市山西町880-2
電話：089-951-6111 FAX：089-953-3806